

令和5年度交流研究員受入研究課題調査票

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる 関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に 関連するその他の 研究室等の有無
1	つくば地区 (旭)	下水道研究部 下水道研究室	①国土を強靱化し、国民の いのちと暮らしをまもる研究	気候変動に適応した都市 雨水管理手法に関する研究	気候変動に適応した都市雨水管理に ついて、既存の下水道ストックを活用し た具体的な対策手法に係る検討を行う とともに、下水道事業におけるグリーン インフラの効果の評価等に係る検討を 行う。	・下水道の浸水対策に 関する業務	・気候変動に適応した都市雨水管理に係る総合 的な専門知識及び技術を修得。 ・日本下水道協会の下水道研究発表会等にお いて成果を発表。	・室内の定期調整会を実施 ・各種打ち合わせ資料の作成、関係者との調整 に関する指導 ・国内外の関連情報の収集、有識者との意見交 換及び関連施設の現地調査を実施 ・発表報告及び論文等は、指導責任者及び室 長が指導	無
2			②社会の生産性と成長力 を高める研究	下水道管路施設の効率的 なストックマネジメントに関 する研究	下水道管路施設のストックマネジメント について、管理延長等のデータベース 及び道路陥没の予防対策の効果に係 る検討を行うとともに、点検・調査機器 の性能評価に係る検討を行う。	・下水道管路施設のス トックマネジメントに関す る業務	・下水道管路施設のストックマネジメントに係る 総合的な専門知識及び技術を修得。 ・日本下水道協会の下水道研究発表会等にお いて成果を発表。	・室内の定期調整会を実施 ・各種打ち合わせ資料の作成、関係者との調整 に関する指導 ・点検・調査機器の性能評価に関する実験を実 施 ・発表報告及び論文等は、指導責任者及び室 長が指導	無
3		下水道研究部 下水処理研究室	②社会の生産性と成長力 を高める研究	下水処理/汚泥処理におけ るカーボンニュートラルに 向けた技術に関する研究	下水処理の省エネや下水汚泥の資源・ エネルギー有効利用など、下水道に係 るカーボンニュートラルに向けた技術を 導入する場合の計画手法、評価手法に ついて検討する。	・下水処理施設の下水 処理/汚泥処理技術に 関する業務	・下水処理/汚泥処理における省・創エネル ギーシステムについて、計画から運転に係る総 合的な専門知識、技術及びノウハウを修得。 ・これにより、下水処理/汚泥処理の新技術導 入時の課題分析力及び評価能力を向上。 ・日本下水道協会の下水道研究発表会等にお いて成果を発表。	・室内の定期調整会を実施 ・各種打ち合わせ資料の作成、関係者との調整 に関する指導 ・実用開発中の技術を対象に、開発者との意見 交換及び現地調査を実施 ・発表報告及び論文等は、指導責任者及び室 長が指導	無
4			②社会の生産性と成長力 を高める研究	下水処理施設を活用した 下水道資源及びバイオマ スの有効利用技術の導入 手法に関する研究	下水処理施設の有する資源ポテンシ ヤルを活用して、下水道資源及びバイ オマスの有効利用技術を導入する場合の 計画手法を検討するとともに、施設の 運転管理上の留意点を検討する。	・下水道資源やバイ オマスの有効利用技術に 関する業務	・下水処理施設を活用した下水道資源及びバイ オマスの有効利用技術に関し、計画から運転に 至る総合的な専門知識、技術及びノウハウを修 得。 ・これにより、下水道資源及びバイオマスの有 効利用技術の導入時における課題分析力及び 評価能力を向上。 ・日本下水道協会の下水道研究発表会等にお いて成果を発表。	・室内の定期調整会を実施 ・各種打ち合わせ資料の作成、関係者との調整 に関する指導 ・実用開発中の技術や先行事例を対象に、開発 者との意見交換及び現地調査を実施 ・発表報告及び論文等は、室長が指導	無

※ …交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご留意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
5	つくば地区 (旭)	河川研究部 河川研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	河川管理施設の変状検出・劣化診断技術の高度化に関する研究	河川構造物の点検履歴や土質データ等を組合せ、変状検出技術や劣化診断技術を高度化する手法について検討する。	・河川管理施設の点検に関する業務	・河川管理施設の点検及び劣化診断に関する総合的な専門知識の修得 ・河川管理施設の被災調査等を通じた被災原因分析技術や対策案検討手法の習得 ・土木学会河川技術論文集等、学術論文の執筆能力の向上 ・各種打合せ資料等の作成能力の向上	・研究内容についてディスカッションを行う室内打合せ(週1回ペース) ・河川管理施設に生じる変状の発生要因究明に関する指導 ・河川管理施設の管理担当者向け勉強会(月1回ペース) ・災害調査をはじめとした全国の河川での現地調査 ・本省との技術政策に関する打合せ等への出席 ・土木学会等への論文執筆支援	無
6			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	フラジリティカーブを用いた河川堤防の耐浸透性能評価に関する研究	河川水位等と堤防の浸透破壊確率の関係を表すフラジリティカーブの合理的な作成手法を構築するとともに、フラジリティカーブを用いた縦断的な堤防の安全性評価手法について検討を行う。	河川堤防の浸透流解析に関する業務(浸透流計算を実施した経験がある)	・堤防の浸透破壊に関する総合的な専門知識の修得 ・浸透流解析技術、確率論に基づいた堤防の安全性評価技術の修得 ・土木学会河川技術論文集等、学術論文の執筆能力の向上 ・各種打合せ資料等の作成能力の向上	・研究内容についてディスカッションを行う室内打合せ(週1回ペース) ・河川堤防の浸透性能評価及び浸透被災発生要因究明に関する指導 ・災害調査をはじめとした全国の河川での現地調査 ・本省との技術政策に関する打合せ等への出席 ・土木学会等の査読付き論文の執筆支援	無
7			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	急流河川における河道設計手法に関する研究	広い粒度分布から構成されるセグメント1の河床変動、粒度変化を予測できる数値解析モデルを構築し、模型実験データを基に適用性を検証するとともに、河岸侵食等による被害を軽減するための河道設計手法について検討する。	河道計画に関する業務(水理計算、河床変動計算を実施した経験があることが望ましい)	・洪水流・河床変動解析技術の修得 ・土木学会河川技術論文集等、学術論文の執筆能力の向上 ・説明資料の作成能力の向上	・研究内容についてディスカッションを行う室内研究会(週1回ペース) ・災害調査をはじめとした全国の河川での現地調査 ・土木学会等の査読付き論文の執筆支援	無
8			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	粘り強い河川堤防の構造検討に関する研究	河川堤防を越水した場合であっても決壊しにくく、決壊するまでの時間を少しでも長くするなどの減災効果を発揮する粘り強い河川堤防の構造について検討する。	堤防等の河川構造物に関する業務	・堤防強化に関する知識及び技術の修得 ・堤防に関する水理模型実験の方法の立案、実験結果の整理、分析に関する技術の修得 ・各種打合せ資料、手引き等の技術資料等の作成能力の向上 ・土木学会河川技術論文集等、論文の執筆能力の向上	・堤防強化に関する本省、土研との打合せへの出席 ・大規模越水実験の実施(実験内容、データの整理・分析方法に関する指導) ・各種打合せ資料の作成、関係者との調整に関する指導 ・成果物(技術資料、論文、交流研報告書等)のとりまとめ指導	無

※ …交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご留意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
9	つくば地区 (旭)	河川研究部 海岸研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	高潮・波浪に関する防災気象情報に関する研究	海岸での波のうちあげ高の観測技術または予測技術に関する検討を行う。	海岸の調査・設計・管理に関する業務	・うちあげ高の観測や予測に関する技術の修得 ・海岸工学講演会、関連学会での発表、論文の投稿	・うちあげ高の観測方法や予測方法の基礎知識に関する指導 ・論文執筆指導	無
10			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	衛星画像を活用した海岸モニタリングに関する研究	光学及びSAR衛星画像を用いて海岸線及び海岸環境をモニタリングする手法を開発する。	海岸の調査・設計・管理に関する業務	・GIS(QGIS)を用いた海岸情報の管理技術及び、国総研で開発中のAIによる画像解析手法を用いた海岸線モニタリング技術の修得 ・海岸における現地調査技術の修得 ・海岸工学講演会、関連学会での発表、論文の投稿	・衛星画像等の入手、解析手法 ・海岸の現地調査 ・論文執筆指導 ・JAXA等の衛星事業者との意見交換 ・海岸管理者との意見交換	無
11		河川研究部 水循環研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	流域防災DX(デジタルトランスフォーメーション)に資する技術開発に関する研究	3次元データを活用した水害リスク・対策効果の可視化の技術開発、社会実装に関する研究	地理空間情報またはDXに関する業務	・3次元データ(地理空間情報、3次元管内図等)を活用した水害リスク・対策効果の可視化等、流域防災DXに関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・流域特性に応じた水害リスクの検討の状況把握 ・学会等での成果発表	・河川研究部内関係研究室(河川研究室、水害研究室)との情報共有、ディスカッションへの出席 ・本省との技術政策に関する打合せの出席 ・地整、地方公共団体との流域防災DXに関する打合せの出席 ・国土地理院等の関係機関、関係する学識者等との意見交換への出席 ・論文執筆指導	有(河川研究室、水害研究室)
12		①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	洪水予測技術に関する研究	洪水予測(水害リスクライン)の精度、次世代の洪水予測技術の開発に関する研究	水理解析または洪水予測に関する業務	・洪水予測技術に関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・全国各地での流域特性に応じた洪水予測技術の現場実装状況の把握 ・学会等での成果発表	・本省との技術政策に関する打合せの出席 ・地整、地方公共団体との洪水予測に関する打合せの出席 ・関係する学識者等との意見交換への出席 ・各種打合せ資料の作成、関係者との調整に関する指導 ・論文執筆指導	無	
13		①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	気候変動を考慮した治水計画に関する研究	気候変動による降雨の時空間分布の変化を考慮した治水計画立案手法に関する研究	水理解析または治水計画(高水、河道または流域治水)に関する業務	・治水計画に関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・全国各地での流域特性に応じた治水計画の検討・策定状況の把握 ・学会等での成果発表	・河川研究部内関係研究室(河川研究室、水害研究室)との情報共有、ディスカッションへの出席 ・本省との技術政策に関する打合せの出席 ・地整、地方公共団体との治水計画に関する打合せの出席 ・関係する学識者等との意見交換への出席 ・各種打合せ資料の作成、関係者との調整に関する指導 ・論文執筆指導	有(河川研究室、水害研究室)	

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご留意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
14		河川研究部 大規模河川構造物研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	ダム建設・維持管理における多様な情報・データの有効活用に関する研究	ダムの設計・施工や維持管理等に関する多様な情報・データの取得・分析・評価等の技術に関する検討を行う。	・構造物の設計、施工又は維持管理に関する業務	・ダムの設計・施工や維持管理で扱う多様な情報・データに関する知識とそのリスクマネジメント等への活用に関する有効な分析・評価の技術(AIの活用を含む)の習得 ・学会、専門誌等での成果発表	・情報・データ分析、計測、解析、現地調査等 ・勉強会(随時) ・論文指導	無
15			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	外力作用によるダム構造物への影響評価と対策に関する研究	ダム構造物を対象に気候変動、大規模地震等による影響の評価および既設ダム再生を含む合理的な対策手法等に関する検討を行う。	・構造物の設計、施工又は安全性や機能の評価に関わる業務	・大規模な洪水、地震等によるダム構造物への影響の評価や既設ダム再生を含む対策手法に関する知識・技術の修得 ・学会、専門誌等での成果発表	・情報・データ分析、解析、実験、現地調査等 ・勉強会(随時) ・論文指導	無
16			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	ダム建設を効率的にするための施工技術に関する研究	各種ダム型式の施工や再開発ダムの施工等を効率的に進めるための様々な施工技術に関する検討を行う。	・構造物の設計、施工に関する業務	・ダムを効率的に施工するための施工技術に関する知識や技術の習得 ・学会、専門誌等での成果発表	・情報・データ分析、計測、実験、現地調査等 ・勉強会(随時) ・論文指導	無
17	つくば地区 (旭)	河川研究部 水害研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	防災まちづくりのための減災対策の効果の示し方の検討	・流域治水や防災まちづくりの進展に向けた、減災対策の効果の評価手法の検討	・氾濫解析に関する業務	・多段階浸水想定図を活用した減災対策の治水計画への反映手法など、流域治水や防災まちづくりに関する具体的な専門知識の習得 ・水害特性や減災対策の効果の評価等の分析技術の習得 ・全国各地での流域特性に応じた流域治水や防災まちづくりの検討・現場実装状況の把握 ・論文の執筆能力の向上。各種打合せ資料、手引き等の技術資料等の作成能力の向上	・河川研究部内関係研究室(河川研究室、水害研究室)との情報共有、ディスカッションへの出席 ・本省、地方整備局、河川事務所との、流域治水に関する協議・定例の情報交換会・現地調査等への参加 ・関係する学識者等との意見交換等への出席 ・多段階浸水想定図等の数値解析結果の分析・活用方法等に関する指導 ・各種打合せ資料の作成、関係者との調整に関する指導 ・土木学会等への査読付き論文の執筆支援	有(河川研究室、水循環研究室)
18			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	水害リスク情報の活用方策に関する研究	・水害リスクマップの作成手法・説明手法の検討	・氾濫解析に関する業務	・水害リスクマップの作成、関係者への提示・説明等、水害リスク情報に関する具体的な専門知識及び技術の習得 ・全国各地での流域特性に応じた水害リスクマップの活用状況、水害リスク情報活用の検討・現場実装状況の把握 ・論文の執筆能力の向上。各種打合せ資料、手引き等の技術資料等の作成能力の向上	・河川研究部内関係研究室(河川研究室、水害研究室)との情報共有、ディスカッションへの出席 ・本省、地方整備局、河川事務所との、水害リスクマップの作成や活用に関する協議・定例の情報交換会・現地調査等への参加 ・関係する学識者等との意見交換等への出席 ・水害リスクマップ等の数値解析結果の分析・活用方法等に関する指導 ・各種打合せ資料の作成、関係者との調整に関する指導 ・土木学会等への査読付き論文の執筆支援	有(河川研究室、水循環研究室)

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご注意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
19	つくば地区 (旭)	土砂災害研究部 砂防研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	大規模土砂災害のリスク評価等に関する研究	・大規模土砂災害のリスク評価手法の検討 ・深層崩壊・天然ダム等異常土砂災害の被害想定手法、施設配置計画検討手法の検討	山地域の土砂生産・流出に関する調査または対策に関する業務	・深層崩壊・天然ダム等異常土砂災害対策計画に関する総合的専門知識及び技術の修得 ・大規模土砂災害リスク評価手法に関する新たな技術の提案、実用性の検証・取りまとめ ・砂防学会等、関係学会での発表、論文執筆	・学会誌及び砂防学会研究発表会論文の作成指導 ・深層崩壊等の大規模土砂災害(近畿地整管内等)及び異常土砂災害対策計画策定モデル流域(北陸地整管内等)の現地調査 ・部内の勉強会の参加 ・水理模型実験への参加	無
20				流域土砂管理のための生産土砂量予測に関する研究	・大規模土砂生産後の中長期的な生産土砂量予測手法の検討 ・大規模土砂生産時の土砂流出抑制手法の検討	山地域またはその下流域の土砂生産・流出に関する調査または対策に関する業務	・中期・長期土砂流出予測およびその対策、土砂・洪水氾濫対策に関する総合的専門知識及び技術の修得 ・大規模土砂生産後の生産土砂量予測の考え方、土砂流出抑制手法に関する新たな技術の提案、実用性の検証・取りまとめ ・砂防学会等、関係学会での発表、論文執筆	・学会誌及び砂防学会研究発表会論文の作成指導 ・近年大規模土砂生産現象が発生した流域(近畿地整管内等) ・部内の勉強会の参加 ・水理模型実験への参加	無
21				短期生産土砂量予測手法に関する研究	・土砂・洪水氾濫対策のための短期生産土砂量推定手法の検討	・山地域の土砂生産・流出に関する調査または対策に関する業務	・土砂・洪水氾濫対策に関する総合的専門知識及び技術の修得 ・溪流・山腹等からの土砂生産量推定手法に関する新たな技術の提案、実用性の検証・取りまとめ ・砂防学会等、関係学会での発表、論文執筆	・学会誌及び砂防学会研究発表会論文の作成指導 ・土砂・洪水氾濫災害(東北、中国、九州地整管内等)の現地調査 ・部内の勉強会の参加	無
22		土砂災害研究部 土砂災害研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究 ②社会の生産性と成長力を高める研究	砂防事業の各段階におけるBIM/CIMを活用した生産性向上に関する研究	・砂防事業の調査・設計・施工・維持管理におけるBIM/CIM活用手法の検討 ・紀伊山地の現場をフィールドとした3次元データの収集、活用等の現地検証	・「GISおよびCADソフトを用いた調査・設計」、 「3次元モデルを用いた施工計画の検討」に関する業務	・砂防事業の実施に関するBIM/CIMを活用した新たな技術の提案、実用性の検証・取りまとめ ・砂防分野における3次元データモデルや属性データの作成・利用についての基準類に関する総合的な専門知識の修得 ・砂防学会等、関係学会での発表、論文執筆	・学会誌及び砂防学会研究発表会論文の作成指導 ・深層崩壊等の大規模土砂災害(近畿地整管内等)及び大規模土砂災害対策技術センター周辺で発生した土砂災害(近畿地整管内等)の現地調査 ・部内の勉強会の参加	無
23				①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	気候変動により多発する土砂災害の監視・予測手法に関する研究	土砂災害発生実績データの迅速、確実な共有、及び品質水準、精査手法の確立、使用条件を明示した公開検討、合わせて、データインベントリ構築・保持・公開手法に関する海外等における取り組む事例分析を実施する。警報基準作成等、データの具体的な活用方法を研究する。	・土砂災害データベースを使用し調査、降雨データ等と組み合わせた警戒避難、通行規制基準や工事の安全対策に関する業務	・災害インベントリーの精査手法、公開方法、活用上に必要なデータ工学分野の知識及び技術の習得 ・素因・誘因両方を含めた土砂災害の発生ポテンシャルの評価に関する専門知識及び技術の修得 ・砂防学会、関係学会での発表、論文の投稿	・砂防学会等関連学会、土木技術資料の発表に向けた論文執筆 ・気象庁、自治体担当者、学識者との意見交換 ・災害調査 ・外部講習会や所内、部内勉強会への参画

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご注意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
24		土砂災害研究部 土砂災害研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	各種センシング情報を統合化した斜面監視手法に関する研究	SAR画像を用いた大規模土砂災害の判読精度、適用条件を明らかにし、標準的な判読調査手順を開発し、判読精度を向上させるための蓋然性評価手法、および画像解析手法を開発する。	・リモートセンシング技術を用いた国土監視技術に関する業務	・LP活用を前提としたリモートセンシングによる崩壊地判読に関する技術の修得 ・大規模土砂災害に対する初動対応等、危機管理に関する技術の修得 ・砂防学会、関係学会での発表、論文の投稿	・砂防学会等関連学会、国総研資料、土木技術資料の発表に向けた論文執筆 ・自治体担当者、学識者、JAXAとの意見交換 ・災害調査 ・外部講習会や所内、部内勉強会への参画	無
25			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	がけ崩れ災害対応のための意思決定支援システムの開発	災害発生状況を可搬型機材、UAV等により取得される三次元点群データ等を用いて迅速に可視化し、合わせてがけ崩れ等災害対応にBIM/CIMモデルを具体的に適用することで、二次災害防止や応急対策のための意思決定の効率化を支援するシステムを開発する。	・UAV等を用いた災害現場の監視、SfM等を用いたBIM/CIM手法に関する業務	・UAV活用を前提とした崩壊地及び土砂流動・氾濫域の判読に関する技術の修得 ・大規模土砂災害に対する初動対応等、危機管理に関する技術の修得 ・砂防学会、関係学会での発表、論文の投稿	・砂防学会等関連学会、国総研資料、土木技術資料の発表に向けた論文執筆 ・地方整備局、学識者、関連業団体との意見交換 ・災害調査 ・外部講習会や所内、部内勉強会への参画	無
26	つくば地区 (旭)	道路交通研究部 道路研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	ETC2.0プローブ情報等のビッグデータを活用した道路交通状況把握・効果分析手法に関する研究	ETC2.0プローブ情報や常時観測交通量等のビッグデータを活用し、日別・時間帯別OD交通量や渋滞状況を分析する手法、渋滞を予測する手法等に関する研究を行う。	道路の計画、道路交通調査に関する業務	・ETC2.0プローブ情報(ビッグデータ)に関する知識および分析技術の習得 ・OD交通量や渋滞に関する交通工学的知識の取得 ・道路、交通関係の論文・機関誌への投稿	・研修成果目標達成のための技術指導 ・道路交通データの集計・解析手法 ・論文・発表指導 ・定例勉強会の開催	無
27			②社会の生産性と成長力を高める研究	全国幹線道路におけるAI等を活用した新たな交通調査方法に関する研究	ICTを活用した新道路交通調査体系を目指し、AI等の新たな技術による車や人の交通量、速度の把握および異常事象検知等に関する研究を行う。	道路の計画、道路交通調査に関する業務	・AIやICTを組合わせた新たな技術による車や人の交通量、速度の把握および異常事象検知等に関する知識および技術の習得 ・道路、交通関係の論文・機関誌への投稿	・研修成果目標達成のための技術指導 ・道路交通データの集計・解析手法 ・論文・発表指導 ・定例勉強会の開催	無
28			③快適で安心な暮らしを支える研究	多様なニーズを持つ利用者に対応した走行空間の創出に関する研究	既存ストックの柔軟な運用や新たな道路幾何構造等、道路の機能を考慮した道路計画・設計に関する研究を行う。	・道路の計画・設計・改良に関する業務	・既存ストックの柔軟な運用、新たな道路幾何構造等、道路機能を考慮した道路計画・設計およびその評価方法に関する専門知識・知見の取得 ・道路構造令等の法令・基準の考え方に関する専門知識の取得 ・道路、交通関係の論文・機関誌への投稿	・研修成果目標達成のための技術指導 ・技術基準に対する考え方 ・道路交通データの集計・解析手法 ・論文・発表指導 ・定例勉強会の開催	無
29			③快適で安心な暮らしを支える研究	道路事業の多様な効果の把握・評価に関する研究	道路事業による多様な効果を事前に計測・評価する手法の高度化に関する研究を行う。	・道路の計画、公共事業の評価に関する業務	・道路事業評価(便益算出等)に関する専門知識・知見の習得 ・道路、交通関係の論文・機関誌への投稿	・研修成果目標達成のための技術指導 ・技術基準に対する考え方 ・道路交通データの集計・解析手法 ・論文・発表指導 ・定例勉強会の開催	無

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご注意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
30	つくば地区 (旭)	道路交通研究部 道路交通安全研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究 ③快適で安心な暮らしを支える研究	幹線道路における交通事故の要因分析等に関する研究	各現場での効果的・効率的な交通安全マネジメントを支援するための方策の検討、ETC2.0プローブ情報等のビッグデータ、AI等革新的技術の交通安全対策への活用方法の検討を行う。	道路の調査、計画、または、設計に関する業務	・プローブデータ等の収集方法・交通安全対策への利用方法に関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・AI技術等革新的技術の活用に関する知識の取得 ・幹線道路における効果的な交通安全対策に関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・土木学会、土木計画学、交通工学研究会等の研究発表会、日本道路会議等に発表できる成果を出す。	・事故データやプローブデータを利用した研究実施 ・先進技術の活用に関する研究実施 ・直轄事務所や自治体との意見交換 ・現地調査の実施 ・論文・発表指導 ・定例勉強会の開催	無
31			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	ICTによるデータを用いた冬期交通障害検知に関する調査	ETC2.0プローブ情報等を活用し、冬期交通障害の検知、大規模障害の予測及び冬期交通障害に備える対策の効果検証に関する検討を行う。	冬期の道路管理、道路交通情報、対策等に関する業務	・冬期交通障害の検知等を目的としたETC2.0プローブ情報の適用性に関する専門知識や、予防的な道路構造・施設による対策を交通安全上の観点から実施する専門知識など、総合的な知識と技術の習得・土木学会、日本道路会議、雪と道路の研究発表会等に発表できる成果を出す。	・各地道路管理者との意見交換会等を通じた意見収集及び現地調査 ・論文・発表指導 ・定期勉強会の開催	無
32			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究 ③快適で安心な暮らしを支える研究	自転車ネットワーク計画策定・通行空間設計手法等に関する研究	自転車ネットワーク計画策定手法改善の検討、自転車通行空間の設計手法の検討を行う。	道路の調査、計画、または、設計に関する業務	・自転車ネットワーク計画策定に必要な自転車の利用状況を収集する手法、自転車通行空間設計に関する総合的な専門知識及び技術の取得 ・海外や国内における先進事例に関する知見の取得 ・事故データやプローブデータによる分析手法、最新のICT技術に関する技術・知識の取得 ・土木学会、土木計画学、交通工学研究会等の研究発表会、日本道路会議等に発表できる成果を出す。	・実験・現地調査の実施 ・事故データやプローブデータを活用した研究実施 ・直轄事務所や自治体との意見交換 ・論文・発表指導・定例勉強会の開催	無
33			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究 ③快適で安心な暮らしを支える研究	歩行者交通安全対策に関する研究	通学路や未就学児通行経路、生活道路などにおける、人優先の道路空間形成手法や交通安全対策手法の検討を行う。	道路の調査、計画、または、設計に関する業務	・歩行者交通安全対策の立案・計画・設計に関する専門知識の習得 ・海外や国内における先進事例に関する知見の取得 ・ETC2.0プローブ情報、事故データ等のデータ分析手法の取得 ・土木学会、土木計画学、交通工学研究会等の研究発表会、日本道路会議等に発表できる成果を出す。	・実験・現地調査の実施 ・事故データやプローブデータを活用した研究実施 ・直轄事務所や自治体との意見交換 ・論文・発表指導・定例勉強会の開催	無

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご留意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
34	つくば地区 (旭)	道路交通研究部 道路環境研究室	③快適で安心な暮らしを支える研究	多様なニーズに応える道路空間の形成に関する研究	歩行者優先道路(仮)実現に向けた道路空間の形成、カーブサイドマネジメントやグリーンインフラ等道路空間の活用を支える法制度、技術に関する調査・研究を行う。	・道路空間の利活用に関する業務または道路空間へのグリーンインフラの導入に関する業務	・道路空間利活用を支える法制度、技術基準の考え方に関する専門知識・知見の習得 ・道路空間へのグリーンインフラの導入に関わる総合的な知識や技術の習得 ・土木学会等、関連する学会に発表できる成果を上げる。	・道路空間利活用を支える法制度、技術基準の考え方に関する指導 ・道路空間へのグリーンインフラの導入動向の調査・分析 ・現地調査・事業者ヒアリング ・論文等成果物作成の指導等	無
35			③快適で安心な暮らしを支える研究	道路環境影響評価の調査・予測・評価・保全措置技術・事後調査等に関する研究	道路環境影響評価に関する環境影響評価図書等を用いて、調査・予測・評価・保全措置技術等の手法の合理化・効率化・標準化のための調査・分析等を行う。	・環境影響評価又は環境調査に関する業務	・「道路環境影響評価の技術手法」に係る専門知識や環境保全技術を習得 ・道路事業の環境影響評価に関する最新の科学的知見(道路交通騒音予測手法、報告書の作成方法、希少動植物の保全手法等)を習得 ・土木学会等、関連する学会に発表できる成果を上げる。	・全国の道路事業で収集された環境保全措置等の分析等に対する指導 ・現地調査・事業者ヒアリングへの同行 ・論文等成果物作成の指導等	無
36			③快適で安心な暮らしを支える研究	グリーン社会の実現に向けた道路政策に関する研究	・自動車(ガソリン車、ハイブリッド車、電気自動車)の走行にかかるCO2排出量を調査する。 ・省エネ技術の導入による道路管理設備(照明、融雪等)の消費電力量の削減量を推計する。	・自動車からのCO2排出量推計に関する業務 ・再生可能エネルギー・省エネルギー技術導入に関する業務	・技術行政、CO2の原単位、道路管理設備の消費電力及び省エネルギーにかかる知識の取得 ・土木学会等、関連する学会に発表できる成果を上げる。	・文献調査、現地調査及びデータ解析の指導 ・論文作成及び発表指導 ・報告書作成指導	無
37			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究 ③快適で安心な暮らしを支える研究	無電柱化事業のコスト縮減・スピードアップに関する研究	「道路特性や地域特性に応じた低コスト化やスピードアップの手法」、「円滑な事業推進に必要な地域住民等との合意形成」、「事業理解の促進に必要な無電柱化の効果」に関する調査・研究を行う。	・無電柱化に係る計画・設計・施工に関する業務	・無電柱化事業のコスト縮減・スピードアップ、合意形成、効果に関する最新の知見の習得 ・土木学会等、関連する学会に発表できる成果を上げる。	・文献調査、現地調査、関係者ヒアリング及びデータ解析の指導 ・所内の実験施設を利用した実験の指導 ・論文等成果物作成の指導	無
38		道路交通研究部 高度道路交通システム研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	路車協調による自動運転の普及拡大に関する研究	車両センサ検知外の路上障害等の情報提供(先読み情報提供)など、路車協調による自動運転の普及拡大に必要な研究を行う。	道路計画、電気通信又はITSに関する業務	・路車協調による自動運転に関する専門知識及び技術の修得 ・国内外の会議に発表できる成果を出す	・論文指導 ・定例勉強会 ・現地調査 ・実験	無
39		②社会の生産性と成長力を高める研究	路車協調による自動運転の普及拡大に関する研究	車線維持システムの支援の観点からの区画線の要件や、合流支援情報提供システムの技術仕様など、路車協調による自動運転の普及拡大に必要な研究を行う。	道路計画、電気通信又はITSに関する業務	・路車協調による自動運転に関する専門知識及び技術の修得 ・国内外の会議に発表できる成果を出す	・論文指導 ・定例勉強会 ・現地調査 ・実験	無	

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご注意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
40	つくば地区 (旭)	道路交通研究部 高度道路交通システム研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	大型車両の通行実態モニタリング手法に関する研究	ETC2.0プローブデータで把握する経路情報やWIM(自動重量計測装置)で把握する重量情報をもとに、大型車の道路ネットワーク上の走行実態をモニタリングする手法に関する研究を行う。	道路計画、電気通信又はITSに関する業務	・ETC2.0プローブデータ、WIMの特性の把握、これらの処理技術を習得 ・国内外の会議に発表できる成果	・論文指導 ・定例勉強会 ・現地調査 ・実験	無
41			②社会の生産性と成長力を高める研究	ETC2.0の利便性向上に向けた研究	次世代ITS車載器に必要な機能の検討や、ETC2.0利便性向上に向けた研究を行う。	道路計画、電気通信又はITSに関する業務	・ETC2.0プローブデータ、簡易型ETC2.0路側機 の特性、処理技術の習得 ・国内外の会議に発表できる成果	・論文指導 ・定例勉強会 ・現地調査等 ・実験	無
42		道路構造物研究部 橋梁研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	道路橋の修繕設計や耐震補強設計の高度化・合理化に関する研究	損傷を有する場合も含めて既設部材の耐力や耐震性の向上のための塑性設計法に関する研究	・道路橋の設計、施工に関する業務	・道路橋の補修、補強のための設計や施工に関する総合的な専門知識及び技術を修得する。 ・桁や柱などの載荷実験補助、並びに、結果分析や既往事例の調査を行い、関連学会等での発表や国総研資料の作成を行う。	・部分係数法による道路橋設計に関する指導 ・部材載荷実験の実施と分析に関する指導 ・過去の補修補強部材の点検記録や補修補強事例の分析や現地調査 ・論文や国総研資料等のとりまとめ指導	無
43		②社会の生産性と成長力を高める研究	新技術・新材料を用いた道路橋の設計に関する研究	新技術や新材料を適用した道路橋の性能の評価について、道路橋示方書や新技術評価ガイドライン案の内容を充実するための研究	・道路橋の設計、施工に関する業務	・道路橋の設計基準、補修補強基準に関する総合的な専門知識や技術を取得する。 ・新形式橋梁や応急橋に適用する荷重係数、耐久性設計に用いる部分係数、既設橋の荷重・抵抗係数の試算結果を整理分析し、関連学会等での発表や国総研資料の作成を行う。	・部分係数法による道路橋設計に関する指導 ・新技術評価ガイドラインを用いた新技術評価に関する指導 ・調査に基づく部分係数の調整方法や補修補強部材の限界状態の評価方法に関する指導 ・論文や国総研資料等のとりまとめ指導	無	
44			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	既設道路橋の性能評価や点検の信頼性向上に関する研究	活荷重計測や詳細調査結果に基づいて、既設橋の安全性や補修補強効果を照査するための基準案の提案に向けた研究	・道路橋の設計、施工に関する業務 ・道路構造物の点検、診断に関する業務	・既設道路橋の性能評価のための詳細調査や載荷試験・モニタリングに関する総合的な専門知識及び技術を取得する。 ・既設橋について、調査・モニタリング結果や部分係数法を用いて安全性を評価した例題を作成し、関連学会等で発表や国総研資料の作成を行う。	・既設橋の性能の照査事例の分析やナレッジの整理に関する指導 ・諸外国の点検基準や既設橋の供用判定基準の分析に関する指導 ・論文や国総研資料等のとりまとめ指導	無

※ …交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご注意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
45		道路構造物研究部 橋梁研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	点検支援技術の橋梁等の管理への実装に関する研究	非破壊検査、センシング、モニタリング、画像認識技術などを組み合わせ、橋ごと、点検種別(日常、定期、緊急点検、特定点検)ごとに点検の方法を最適化できる点検要領や参考資料、研修テキスト案の提案に向けた研究	・道路構造物の点検、診断に関する業務	・既設道路橋等の定期点検、特定点検、詳細調査、モニタリングに関する総合的な専門知識及び技術を取得する。 ・モニタリング技術、点検支援技術の性能検証方法に関する知識と技能を習得する。 ・橋の Fault Tree Analysis等に基づく部材毎の点検方法の組み合わせ手法について、関連学会等での発表や国総研資料の作成を行う。	・モニタリング技術、点検支援技術の性能検証方法や適用性の調査に関する指導 ・既設橋におけるモニタリングも含めた点検計画の立案、実施、結果分析に関する指導 ・道路橋の損傷事例やモニタリング事例に関する現地調査 ・論文や国総研資料等のとりまとめ指導	無
46			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	道路構造物の資産マネジメントやリスクアセスメントの実装に関する研究	道路構造物の資産マネジメントやリスクアセスメントに関する基準案やそのためのデータ記録体系・標準の確立に向けた研究	・道路構造物の点検、診断に関する業務 ・土木構造物の長寿命化修繕計画や個別施設計画の作成に関する業務	・道路構造物の管理体系に関する総合的な専門知識及び技術を取得する。 ・劣化曲線の推定方法に関する専門知識や技術を取得する。 ・道路橋のLCC評価やリスク評価に関する知識と技能を取得する。 ・資産マネジメントの体系化やデータベースについて、関連学会等での発表や国総研資料の作成を行う。	・道路構造物のLCCの評価方法、リスク評価方法等に関する指導 ・道路橋の定期点検データを用いた劣化曲線の統計的推定法に関する指導 ・劣化、災害危険度解析に関する指導 ・論文や国総研資料等のとりまとめ指導	無
47	つくば地区 (旭)	道路構造物研究部 構造・基礎研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	道路橋基礎の信頼性に基づく調査・設計手法に関する研究	地盤との相互作用を考慮する必要のある道路橋基礎に対して、基礎特有の信頼性に基づき、合理的な設計法の構築や、補修補強に向けた既設基礎の評価手法の構築に向けた研究を行う。	・道路橋基礎の調査、設計又は施工に関する業務 ・道路橋基礎の補修補強に係る調査、設計又は施工に関する業務	・道路橋基礎の設計・施工基準に関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・道路橋基礎の信頼性に基づく調査・設計法等について、関連学会等での発表や国総研資料の作成	・道路橋示方書等の基準類の背景に関する指導 ・道路橋基礎の信頼性設計に関する指導 ・国総研が実施する実態調査・分析等に関する指導 ・論文や国総研資料等のとりまとめ指導	無
48			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	橋台背面アプローチ部等の土工性能検証項目等に関する研究	橋台背面アプローチ部やカルバート背面部に対して、アプローチ部等の性能確保に向けた設計・施工法及び橋台やカルバートに及ぼす作用の明確化に向けた研究を行う。	・道路橋の調査、設計又は施工に関する業務 ・道路土工構造物の調査、設計又は施工に関する業務	・道路橋と道路土工構造物の設計・施工基準の共通部分に関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・橋台背面アプローチ部やカルバート背面部の合理的な設計法等について、関連学会等での発表や国総研資料の作成	・道路橋示方書等の基準類の背景に関する指導 ・国総研が実施する実験や実態調査・分析等に関する指導 ・論文や国総研資料等のとりまとめ指導	無
49			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	トンネルの合理的な点検法及び設計・施工法に関する研究	定期点検結果の分析や新技術の活用方策の検討により、点検等の省力化や精度向上に関する研究を行う。 また、トンネル新設時の計画・調査に関する課題への対応及び技術基準の性能規定体系等に関する研究を行う。	・道路トンネルの調査、設計又は施工に関する業務 ・道路トンネルの点検に関する業務 ・道路トンネルの補修補強に係る設計又は施工に関する業務	・道路トンネルの設計・施工基準及び点検・補修補強に関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・道路トンネルの点検・補修補強の合理化や性能設計等について、関連学会等での発表や国総研資料の作成	・道路トンネル技術基準、点検要領等の基準類の背景に関する指導 ・点検結果の分析、その他国総研が実施する実態調査・分析等に関する指導 ・論文や国総研資料等のとりまとめ指導	無
50			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	土工構造物の要求性能に対応した維持管理手法及び信頼性設計に関する研究	シェッド、大型カルバート等の定期点検結果の分析や新技術の活用方策の検討により、点検等の省力化や精度向上に関する研究を行う。 また、土工構造物の統一的な要求性能と信頼性を考慮した設計法に関する研究を行う。	・道路土工構造物の調査、設計又は施工に関する業務 ・道路土工構造物の点検に関する業務 ・道路土工構造物の補修補強に係る設計又は施工に関する業務	・道路土工構造物の設計・施工基準及び点検・補修補強に関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・道路土工構造物の点検・補修補強の合理化や性能設計等について、関連学会等での発表や国総研資料の作成	・道路土工構造物技術基準、点検要領等の基準類の背景に関する指導 ・点検結果の分析、その他国総研が実施する実態調査・分析等に関する指導 ・論文や国総研資料等のとりまとめ指導	無

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご留意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無	
51	つくば地区 (旭)	道路構造物研究部 道路基盤研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	道路区域外からの災害に関する道路のリスク評価に関する研究	自然斜面に接する道路や道路土工構造物に対し、落石、土砂災害等の道路区域外からの災害に関する道路のリスク評価手法について検討する。	道路の被災や復旧、又は道路土工構造物に関する変状評価に関する調査検討	・道路の被災実態、リスク評価手法に関する総合的な専門知識・技術の取得 ・土木学会等への論文投稿及び発表	・道路の被災事例、点検データの収集・分析を通じたリスク評価手法の検討 ・道路土工構造物の損傷事例分析、並びに解析、実験、現地調査等の実施 ・成果物(論文、国総研資料等)のとりまとめ指導	無	
52				①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	盛土・切土等の要求性能に対応した維持管理手法及び信頼性設計に関する調査検討	道路土工構造物(主に盛土、切土)の健全性の把握、補修・補強や維持管理しやすい構造のあり方、技術基準で規定する性能を有することの照査方法(項目、条件等)について検討する。	道路土工構造物(盛土、切土)に関する変状評価又は性能向上に関する調査検討	・既設道路土工構造物(主に盛土、切土)の点検、補修・補強設計や維持管理性の向上、設計に関する総合的な専門知識・技術の取得 ・土木学会等への論文投稿及び発表	・点検データの収集・分析による健全性の把握と点検の合理化に係る検討 ・道路土工構造物の維持管理状況や維持・補修工法の効果等に係る事例の収集・分析 ・被災・損傷事例分析、並びに解析、実験、現地調査等の実施 ・成果物(論文、国総研資料等)のとりまとめ指導	無
53				①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	舗装の性能規定及び設計に関する調査検討	道路構造物全体系の中での舗装の要求性能や維持管理段階での健全性の把握、補修・補強方法、路面下空洞対策など、舗装の長期性能の確保のあり方について検討する。	道路構造物としての舗装の要求性能又は損傷評価に関する調査検討	・舗装の性能設定手法や点検、補修・補強設計や維持管理性の向上、設計に関する総合的な専門知識・技術の取得 ・土木学会等への論文投稿及び発表	・点検データの収集・分析による健全性の把握と点検の合理化に係る検討 ・舗装の維持管理状況や維持・補修工法の効果等に係る事例の収集・分析、実験、現地調査等の実施 ・成果物(論文、国総研資料等)のとりまとめ指導	無
54		道路構造物研究部 道路地震防災研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	道路被災状況を即時把握する覚知技術に関する研究	地震や豪雨により発生した道路施設被害を即時把握する覚知技術の研究を行う。特に衛星やUAVなどを活用したリモートセンシング技術、非接触検知センサ等を活用したモニタリング技術を対象に検討する。	衛星、UAVなどのリモートセンシングや、非接触検知センサを用いたモニタリングのうち、何れかの技術を用いた施設の状態把握に関する業務	・災害対応の最前線、意思決定者のニーズ把握 ・行政ニーズを踏まえたソリューション提案のための調査の計画立案・実施能力 ・土木学会等への論文発表 ・道路の被災実態把握 ・最新技術を用いた道路被災状況把握に関する総合的な専門知識・技術の取得	・行政ニーズを踏まえたソリューション提案のための調査の計画立案・実施能力の育成 ・災害覚知技術から得られるデータの収集・分析を通じた道路被災把握手法の検討 ・実験、現地調査等の実施 ・成果物(論文、国総研資料等)のとりまとめ指導	無	
55		①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	構造物の挙動モニタリング記録や地盤のアレー観測記録を用いた地盤・橋の振動特性の評価に関する研究	・国総研で実施している橋の挙動のモニタリング記録を用いて解析等を実施し、橋の振動特性を把握する。 ・国総研で実施しているアレー観測記録(地表-地中)の分析を行い、地盤の振動特性を把握する。	地盤または構造物の振動解析に関する業務	・橋の振動特性に関する専門知識の習得 ・地盤の振動特性に関する専門知識の習得 ・振動解析ノウハウの習得 ・土木学会等での論文投稿および発表	・観測記録を用いた地盤や橋の振動特性の分析に関する指導 ・現地計測に関する指導 ・論文や国総研資料のとりまとめ指導	無		

※ …交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご注意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
56	つくば地区 (立原)	都市研究部 都市施設研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	デジタル技術の活用によるスマートシティ実現に関する研究	ビックデータやモデル手法等を活用した都市における人の流動の現況把握・分析・予測手法を開発するとともに、これらの手法を用いたまちづくりのあり方について研究する。	データ活用型まちづくりに関する業務	・ビックデータ、AI、モデル手法等の新技術を用いた都市交通調査・まちづくり手法に関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・土木学会や都市計画学会、交通工学研究会等の研究発表会における論文発表等	・ビックデータ等を用いた都市交通調査・まちづくり手法に関する指導・助言 ・本省等開催の勉強会等への参加 ・論文指導 ・関係機関(本省、自治体、情報関係事業者、学識等)との意見交換 ・ケーススタディ地区の現地調査等	無
57			③快適で安心な暮らしを支える研究	新たなモビリティを活用した交通ネットワーク構築手法に関する研究	グリーンスローモビリティ・超小型モビリティ等の活用やBRT等の既存交通モードの高度化等を考慮した、都市交通ネットワーク及び都市内における導入空間の形成手法について研究する。	都市交通計画に関する業務	・新たな技術を用いた交通モードや都市交通ネットワーク形成手法に関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・土木学会や都市計画学会、交通工学研究会等の研究発表会における論文発表等	・都市交通ネットワーク形成手法に関する指導・助言 ・本省等開催の勉強会等への参加 ・論文指導 ・関係機関(本省、自治体、地元組織、交通事業者、学識等)との意見交換 ・ケーススタディ地区の現地調査等	無
58			③快適で安心な暮らしを支える研究	居心地が良く歩きたくなる公共空間の形成手法に関する研究	広場や交通結節点・街路空間など、官民のパブリックスペースをウォークアブルな空間に充実していくための歩行空間・都市空間の形成手法を研究する。	都市内における歩行空間形成に関する業務	・歩行者交通や人中心の空間形成手法に関する総合的な専門知識及び技術の習得 ・土木学会や都市計画学会、交通工学研究会等の研究発表会における論文発表等	・歩行空間の計画・整備手法に関する指導・助言 ・本省等開催の勉強会等への参加 ・論文指導 ・関係機関(本省、自治体、開発事業者、学識等)との意見交換 ・ケーススタディ地区の現地調査等	無

※ …交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご注意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
59	つくば地区 (旭)	社会資本マネジメント研究センター 社会資本マネジメント研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	調査・設計等業務の品質確保に関する研究	・調査・設計等業務(建設コンサルタント業務、測量、地質調査等)の品質確保策(施工段階を含む手戻り回避・技術評価の改善等)の検討等	建設マネジメント(公共工事・コンサルタント業務等)に関する業務 等	・調査・設計等業務の品質確保に関する総合的な専門知識の習得 ・土木学会年次講演会、建設マネジメント研究論文集等への論文投稿	・研修成果目標達成のための技術指導 ・現地調査 ・関係者へのヒアリング ・事例の分析 ・成果物(論文、国総研資料等)のとりまとめ指導 ・関係機関(本省、各地方整備局等)との意見交換への参加	無
60			②社会の生産性と成長力を高める研究	公共工事の品質確保・生産性向上に関する研究	・公共工事の品質確保・生産性向上策(入札契約方式の適用条件・技術評価の改善)の検討等	建設マネジメント(公共工事・コンサルタント業務等)に関する業務 等	・公共工事の品質確保に関する総合的な専門知識の習得 ・土木学会年次講演会、建設マネジメント研究論文集等への論文投稿	・研修成果目標達成のための技術指導 ・現地調査 ・関係者へのヒアリング ・事例の分析 ・成果物(論文、国総研資料等)のとりまとめ指導 ・関係機関(本省、各地方整備局等)との意見交換への参加	無
61			②社会の生産性と成長力を高める研究	官民連携型事業執行方式に関する研究	・技術提案・交渉方式、事業促進PPP、フレームワーク方式等を活用した官民連携型事業執行方式に関する実施状況の整理、及び適用拡大方策の検討等	建設マネジメント(公共工事・コンサルタント業務等)に関する業務 等	・官民連携型事業執行方式を適用したフロントローディング、コンカレントエンジニアリングの改善に関する総合的な専門知識の習得 ・土木学会年次講演会、建設マネジメント研究論文集等への論文投稿	・研修成果目標達成のための技術指導 ・現地調査 ・関係者へのヒアリング ・事例(国内外)の分析 ・成果物(論文、国総研資料等)のとりまとめ指導 ・関係機関(本省、各地方整備局、建設関係業界団体等)との意見交換への参加	無
62			社会資本マネジメント研究センター 社会資本システム研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	土木工事積算システムの高度化に関する研究	積算に係る業務の効率化・高度化に寄与することを目的に新たに開発する土木工事積算システムの機能や運用方法について、本省や地方整備局の担当者と連携して、研究・検討を行う。	土木工事積算基準に関する業務または行政システムに関する業務	・土木工事積算基準及び新しい積算システムに関する知識の習得 ・土木学会建設マネジメント委員会の研究発表・討論会等に発表できる成果をあげる。 ・技術政策の検討・決定プロセスに関する知識の習得	・室内の研究検討会(週1回) ・センター内の研究発表会(月1回) ・研究成果は、土木学会建設マネジメント研究論文集等への投稿、その他、「建設マネジメント技術」等の雑誌への投稿 ・本省や整備局等が参加する定期会議への出席 ・本省等との施策検討の会議への出席
63			②社会の生産性と成長力を高める研究	ビッグデータを活用した積算基準の高度化に関する研究	地方整備局等での積算、工期設定や入札契約に関するビッグデータを活用して分析を行うためのシステムを構築した上で、それをうい入札不調等の入札契約に関する課題の解決に資する分析と検討を行う。	土木工事積算基準に関する業務、建設生産プロセスに関する業務または行政システムに関する業務	・土木工事積算基準及び入札契約手続きに関する知識の習得 ・土木学会建設マネジメント委員会の研究発表・討論会に発表できる成果をあげる。 ・技術政策の検討・決定プロセスに関する知識の習得	・室内の研究検討会(週1回) ・センター内の研究発表会(月1回) ・研究成果は、土木学会建設マネジメント研究論文集等への投稿、その他、「建設マネジメント技術」等の雑誌への投稿 ・本省や整備局等が参加する定期会議への出席 ・本省等との施策検討の会議への出席	無

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご留意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
64		社会資本マネジメント研究センター 社会資本システム研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	建設生産プロセスにおける生産性の評価手法に関する研究	i-Construction、DXなど、建設生産プロセスの生産性向上に向けて行われている各種の取り組みの効果を評価する手法について、研究・検討を行う。	建設生産プロセスに関する業務または建設分野の新技术に関する業務	・i-Construction等建設現場の生産性向上に関する知識の習得 ・土木学会建設マネジメント委員会の研究発表・討論会に発表できる成果をあげる。 ・技術政策の検討・決定プロセスに関する知識の習得	・室内の研究検討会(週1回) ・センター内の研究発表会(月1回) ・研究成果は、土木学会建設マネジメント研究論文集等への投稿、その他、「建設マネジメント技術」等の雑誌への投稿 ・本省や整備局等が参加する定期会議への出席 ・本省等との施策検討の会議への出席 ・新技术の試行現場等での現地調査	無
65			②社会の生産性と成長力を高める研究	コンクリート構造物の生産プロセスにおける生産性向上手法に関する研究	プレキャスト製品の活用、監督・検査へのICT活用など、コンクリート構造物の整備プロセスに係る生産性向上策の検討を行うとともに、それらの取り組みを促進するための技術基準類の改訂案について検討を行う。	コンクリート構造物や建設用コンクリート製品の設計や製造に関する業務又は建設生産プロセスの高度化に関する業務	・土木工事の設計、施工、検査・監督に関する知識の習得 ・土木学会建設マネジメント委員会の研究発表・討論会に発表できる成果をあげる。 ・技術政策の検討・決定プロセスに関する知識の習得	・室内の研究検討会(週1) ・センター内の研究発表会(月1) ・研究成果は、土木学会建設マネジメント研究論文集等への投稿、その他、「建設マネジメント技術」等の雑誌への投稿 ・本省や整備局等が参加する定期会議への出席 ・本省等との施策検討の会議への出席 ・新技术の試行現場等での現地調査	無
66	つくば地区(旭)	社会資本マネジメント研究センター 社会資本施工高度化研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	建設現場・施工環境から収集可能な施工履歴等のデータを用いた施工管理の高度化に関する研究	建設機械等から取得できる施工履歴等のデータを用いた施工現場の状況把握と、それにより実現する高度化な施工管理に関する検討。	・ICT建設機械技術関連業務 ・3次元計測関連業務 ・建設施工技術関連業務	・3次元データの活用に関する総合的な専門知識及び技術の修得 ・建設施工技術に関する応用技術の修得 ・土木学会土木情報学シンポジウム、建設施工と建設機械シンポジウム等に発表できる成果を出す。	・論文指導:有 ・定例勉強会:有 ・現地調査等:有 ・実証実験:有	無
67			②社会の生産性と成長力を高める研究	ICT等新技术を活用した建設現場の生産性向上(出来形、品質)に関する研究	建設現場に適したICT等の導入による施工管理・品質管理手法と、その手法の導入で期待される生産性向上効果に関する検討。	・施工現場の高度化・効率化に資する施工管理・品質管理に関する業務 ・建設施工技術関連業務	・ICT導入による施工現場の生産性向上に関する総合的な専門知識の修得 ・建設現場でのICT活用に関する応用技術の修得 ・土木学会土木情報学シンポジウム、建設施工と建設機械シンポジウム等に発表できる成果を出す。	・論文指導:有 ・定例勉強会:有 ・現地調査等:有 ・実証実験:有	無
68			②社会の生産性と成長力を高める研究	ICTを活用して現場から得られる3次元データの連携・活用によるBIM/CIMを含めた施工・維持管理の高度化に関する研究	施工管理や維持管理のプロセスで取得した3次元データの利活用の促進・高度化に関する検討。	・3次元計測技術関連業務 ・3次元データの効率化・高度化に関する業務	・施工管理や維持管理における業務効率化に関する総合的な専門知識の修得 ・3次元点群データ等の蓄積と連携利用に関する応用技術の修得 ・土木学会土木情報学シンポジウム、建設施工と建設機械シンポジウム等に発表できる成果を出す。	・論文指導:有 ・定例勉強会:有 ・現地調査等:有 ・実証実験:有	無
69			②社会の生産性と成長力を高める研究	建設現場等から得られる3次元データの計測手法や精度確認手法の改善及び得られたデータ等を活用した業務効率化に関する研究	施工管理や維持管理等のための3次元データ取得手法、精度等確認手法、現場で取得した3次元点群データ等の利用の高度化による、業務効率化に関する検討。	・3次元計測技術関連業務 ・データの利活用による業務の効率化・高度化に関する業務	・インフラ整備における業務効率化に関する総合的な専門知識の修得 ・3次元点群データの利用促進と高度利用に関する応用技術の修得 ・土木学会土木情報学シンポジウム、建設施工と建設機械シンポジウム等に発表できる成果を出す。	・論文指導:有 ・定例勉強会:有 ・現地調査等:有 ・実証実験:有	無

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご注意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる 関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に 関連するその他の 研究室等の有無
70	つくば地区 (旭)	社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	建設事業各段階のDXによる抜本的な労働生産性向上に関する技術開発	DXデータセンターを活用した計画、設計、施工、維持管理等の各事業段階でのBIM/CIM活用に向けた検討を行う。	「CADソフトを用いた設計」、「3次元モデルを用いた施工計画の検討」または「数量算出、積算」に関する業務	・DXセンターによる建設情報の管理、活用に関する総合的な専門知識及び技術の取得 ・3次元データモデルや属性データの作成・利用についての基準類に関する総合的な専門知識の習得 ・土木学会土木情報学シンポジウムに発表できる成果を出す。	・論文指導の有 ・定例勉強会：有 ・現地調査等：有 ・実証実験：有	無
71			②社会の生産性と成長力を高める研究	建設事業のDXに資するシステム開発に関する研究	建設事業各段階のDXを支えるDXデータセンターに必要な情報システムの機能開発及び実装に関する研究を行う。	「BIM/CIM」または「情報システム」に関する業務	・建設事業各段階におけるデジタルデータの活用に関する専門的知識及び技術の習得 ・土木学会の年次講演会等に発表できる成果を出す。	・論文指導：有 ・定例勉強会：有 ・現地調査等：有 ・実証実験：有	無
72			②社会の生産性と成長力を高める研究	インフラに関する情報プラットフォームに関する研究	インフラに関する様々なデータベースと連携した情報プラットフォームに必要な機能の検討を行う。	「情報システム」または「インフラデータの収集・加工・分析・提供」に関する業務	・国土交通データプラットフォームの構築に関する専門的知識及び技術の取得 ・土木学会の年次講演会に発表できる成果を出す。	・論文指導の有 ・定例勉強会：有 ・現地調査等：有 ・実証実験：有	無
73			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	道路空間データの整備活用手法に関する研究	道路管理の高度化、効率化を目的とした3次元点群データの収集、活用、管理手法に関する研究を行う。	「道路の維持管理」、「GIS」または「3次元計測技術」に関する業務	・3次元点群データ及び地理空間情報の活用に関する総合的な専門知識の習得 ・土木学会土木情報学シンポジウム等に発表できる成果を出す。	・論文指導：有 ・定例勉強会：有 ・現地調査等：有 ・実証実験：有	無
74		社会資本マネジメント研究センター 建設経済研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	建設分野におけるカーボンニュートラルの計測・評価等に関する研究	建設分野におけるカーボンニュートラルの計測・評価等に関する研究として、CO2削減量やCO2削減による付加価値等の計測及び評価手法や動向把握等に関する調査分析を行う。	建設分野におけるカーボンニュートラルへの取組把握、カーボンニュートラルの計測・評価等に関する業務	・建設分野におけるカーボンニュートラルの計測・評価等に関する専門的知識及び技術の習得 ・土木学会の年次講演会等に発表できる成果を出す。	・研修成果目標達成のための技術指導・現地調査 ・ヒアリング・事例の分析 ・成果物(論文、国総研資料等)のとりまとめ指導	無
75	社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室	③快適で安心な暮らしを支える研究	緑を中心としたグリーンインフラの評価及び実装化に関する研究	都市や河川、道路空間等、様々な社会資本への緑を中心としたグリーンインフラ導入に資する総合評価手法(案)の開発及びグリーンインフラの計画、設計、維持管理における課題を整理するとともに今後の実装化に向けた調査研究を行う。	都市公園やグリーンインフラの計画・設計・整備・維持管理等に関する業務	・都市の緑に関する総合的な専門知識の習得及びグリーンインフラに関する産学官にわたる最新情報の把握 ・雑誌への記事投稿や学会等への論文発表に向けた資料収集及び執筆等	・勉強会 ・本省との政策に関する打合せへの出席 ・学識者、地方公共団体との意見交換や現地調査 ・論文・発表指導	無	

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご留意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考：受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
76	横須賀地区	港湾研究部 港湾施設研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	・係留施設の性能設計法の高度化に関する研究	港湾施設(係留施設)の各種データを活用した残存保有耐力、または安全性水準の設定に関する検討を行う。	・係留施設に関する調査又は設計に係る業務	・係留施設の性能設計に関する専門知識及び技術の修得 ・研究推進を通じた技術者・研究者とのネットワーク形成 ・国総研資料または対外論文としての成果取りまとめ	・論文指導 ・勉強会 ・現地調査 等	無
77			①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	・外郭施設の性能設計法の高度化に関する研究	今後の気候変動に対応した、外郭施設(防波堤)のリスク評価に基づく安全性水準の設定に関する検討を行う。	・外郭施設に関する調査又は設計に係る業務	・外郭施設の性能設計に関する専門知識及び技術の修得 ・研究推進を通じた技術者・研究者とのネットワーク形成 ・国総研資料または対外論文としての成果取りまとめ	・論文指導 ・勉強会 ・現地調査 等	無
78		港湾研究部 港湾計画研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	海事関係ビッグデータを用いた世界の海事動向に関する研究	当室が保有する海事・港湾関係データ(AIS等の船舶動静データ、貨物流動データ等)、その他のデータを用い、予め設定したテーマについてデータ横断的な分析を行い、今後の港湾政策等への提言をまとめる。合わせて、海外も含めた関連文献の収集と分析を行う。	以下のいずれかの業務 ・海事関係のデータ分析 ・港湾計画の関連業務 ・港湾運営の関連業務	・海事関係データを用いた海事動向分析について専門的な能力を習得する。 ・成果を論文等の形でとりまとめる能力を習得する。 ・海外の関連する動向を収集・分析する能力を習得する。	・データ分析に関する実践的な指導 ・論文作成に関する指導 ・勉強会や学会への参加	無
79		港湾研究部 港湾システム研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	港湾貨物流動の分析・予測・評価に関する研究	港湾貨物流動に関わる各種の統計・調査データを基に、貨物流動の現況分析、モデルを用いた将来予測、港湾施設整備による物流改善効果の評価手法などに関する検討を行う。	・港湾貨物流動の現状分析や予測に関わる業務 ・港湾施設の整備効果分析に関わる業務	・港湾貨物流動に関する統計データを用いた分析手法、貨物流動モデルの構築や整備効果分析に関する専門知識及び技術の修得 ・学会において発表できる成果をとりまとめる	・成果取りまとめに関わる論文指導 ・定例勉強会を開催 ・港湾貨物流動に関して、必要に応じて現地調査・ヒアリングなどを指導のもとで実施	無
80		港湾研究部 港湾施工システム・保全研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	港湾施設における調査・設計・施工・維持管理の合理化・効率化について	ICTやBIM/CIM等の各種技術の活用による、港湾施設の調査・設計・施工・維持管理の合理化・効率化に関する検討などを行う。	港湾施設の調査・設計・施工・維持管理に関する業務	・港湾施設の調査・設計・施工・維持管理に関する専門知識及び技術の修得 ・研究推進を通じた技術者・研究者とのネットワーク形成 ・国総研資料としての成果のとりまとめ	・論文指導 ・勉強会 ・現地調査 等	無

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご留意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)

No.	庁舎	受入担当研究室	主な研究テーマ	受入研究課題	課題内容	求められる関連業務実績	研修成果目標	指導内容	受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無
81	横須賀地区	空港研究部 空港計画研究室	②社会の生産性と成長力を高める研究	航空(旅客・貨物)需要の分析・予測・整備効果に関する研究	航空(旅客・貨物)需要に関する各種の統計・調査データを基に、航空流動の現況分析、モデルを用いた将来予測、空港整備による効果の評価手法などに関する研究を行う。	以下のいずれかの業務 ・航空需要の流動分析、予測または分析・予測モデルに関する業務 ・空港整備効果の分析・評価または手法に関する業務	・航空需要(旅客・貨物)に関する統計データを用いた現況分析や予測モデル、空港整備事業の評価手法に関する専門知識及び技術の修得 ・研究推進を通じた技術者・研究者とのネットワーク形成 ・国総研資料としての成果とりまとめ	・論文指導 ・勉強会 ・現地調査 等	無
82		沿岸海洋・防災研究部 沿岸防災研究室	①国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	気候変動を踏まえた港湾における浸水被害の軽減・防止に資する外力の確率評価に関する研究	・気候変動による影響の将来予測の不確実性等を踏まえた港湾における浸水被害の評価、及び、被害の軽減・防止に資する外力の確率評価及び順応的対策に関する研究を行う。	沿岸海洋における施設の設計、維持管理又は防災・減災対策に関する業務	・気候変動を踏まえた港湾における浸水被害評価及び被害軽減・防止に資する外力の確率評価及び順応的対策に関する総合的な専門知識及び技術の修得 ・研究推進を通じた技術者・研究者とのネットワーク形成 ・成果の取り纏め(国総研資料等)	・勉強会 ・現地調査 ・成果の執筆指導 ・課題に関連する打合せ	無 (一部、港湾施設研究室に関連する可能性あり)
83			②社会の生産性と成長力を高める研究	港湾の施設の維持管理の効率化・高度化に関する研究	港湾の施設の維持管理(点検診断)について、UAV、AI等を活用した効率化・高度化に関する研究を行う。	UAVによる空中写真測量、AI(機械学習)、画像解析、港湾の施設の点検診断又は情報システム開発に関する業務	・港湾の施設の維持管理(点検診断)に関する総合的な専門知識及び技術の修得 ・研究推進を通じた技術者・研究者とのネットワーク形成 ・成果の取り纏め(国総研資料等)	・勉強会 ・現地調査 ・成果の執筆指導 ・課題に関連する打合せ	無 (一部、港湾施工システム・保全研究室に関連する可能性あり)

※ ……交流研究員として受入が承認された場合、受入研究課題に関連する研究課題の業務を受注できない場合がありますので、ご留意ください。なお、「受入研究課題に関連する研究課題」とは、受入課題と連携して実施している研究課題です。(参考:受入条件第5「業務の受注制限」)